

学校教育目標
豊かな明日の創造をめざし、いきいきと活動する児童の育成

研究主題

豊かにかかわり合い、進んで運動するさいどっ子の育成
～よい体育授業の実践～

目指す児童像

豊かにかかわり合い
仲間と楽しく運動できる子
進んで運動する
せいいっぱい運動し、ワザや力を伸ばせる子

本校体育科の目標
健康を保持するための知識と意欲を身に付け、体力の向上を図り、楽しく運動できる態度を育てるとともに、生涯にわたって積極的に運動を実践する資質や能力を育成する。

本校の体力向上に関する努力目標
生涯にわたって活力のある生活をおくるための心と体の育成を図るとともに児童が積極的に外遊びや運動に親しむ習慣や意欲を培い、体力の向上を図る。

研究の視点

視点 1

仲間と楽しく運動するための工夫

- (1) 学習形態の工夫
 - 友達同士で見合い、互いの伸びを認め合えるグループ編成
 - 友達の良い点や改善点を見つけ、伝え合うための役割分担
- (2) 言葉がけの工夫
 - 児童同士で教え合いをするために、教師が意図的な言葉がけ
- (3) 友達の伸びを見合う工夫
 - 振り返りの中で友達の良さや伸びを発表させる時間の設定。
 - 広めたい児童の言葉の掲示。

視点 2

せいいっぱい運動し、ワザや力を伸ばすための工夫

- (1) 学習過程の工夫
 - 単元を通して主運動につながる基礎感覚づくりの時間の設定（慣れの運動）
 - 学習内容を絞った学習過程
- (2) 学習環境の工夫
 - 主体的に活動を行うための資料の掲示
- (3) 場づくりの工夫
 - スモールステップの設定
- (4) 明確なめあてと評価
 - 1時間ごとの自己評価や、単元を通して自分の伸びがわかる学習カード
 - 評価の観点を明確化
 - めあてに基づいた教師の評価